




# 学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和3年11月27日

第8号

12月   
.....

「ガイドのやり方も、聞いている方がたいくつにならないようにわかりやすく伝えられるように工夫したいです。」

校長 神田 敏之

これは、6年生の子どもが鎌倉へ修学旅行に行く前にめあてとして書いた言葉です。1日目はグループごとに見学のコースを決めて行動しました。それぞれ鎌倉の寺社などについて調べました。その中で行きたいところを出し合いコースを決定しました。一人が一つか二つの場所を分担し、ガイドをすることになりました。同じグループのメンバーと付き添ってくださるボランティアの方に向けて話します。他の子どものめあても紹介します。

- 報国寺をガイドするときは、あまり紙を見ずにボランティアさんやグループのみんなに説明します。学びたいことはグループのみんなが説明する寺社をメモしたりして学んでいきたいです。
- 自分は緊張してうまくしゃべれないこともあります。だから本当はガイドをやりたくないと思っていました。だけど人前で話すことに慣れたいと思っている自分もいるからガイドをがんばります。

帰ってきてからのふりかえりです。

- みんなに銭洗弁財天宇賀福神社のガイドをしました。クイズを混ぜたりしてみんなに伝えられたと思う。みんなのガイドもよく聞きました。面白い豆知識や学んだこともたくさんありました。
- うれしかったことはしっかりガイドができたことと、最後のお寺まで回れたことです。ガイドは、調べたことだけまとめたり文章を少し変えたりしたのでしっかり伝わっているか、文章はおかしくないかが心配でした。それでもボランティアさんが「よくわかったよ」と言ってくれたので伝わってよかったと思いました。
- がんばったことは、みんなでルートを決めて、道をまちがえたけどみんな協力してたどり着けたことががんばりました。

もちろんうまくいったことばかりではありません。道を間違えたり、予定とルートを変えてしまったりということも起こりました。時間がたりなくなるときにどのように変更すればよいかをあらかじめ考えておくという気付きもありました。

失敗から学ぶということが日々あります。次の機会に生かしたいという言葉もありました。教室の中だけでは経験できない学びができたと感じています。